

令和 3 年 度

開星中学校入学試験問題  
(3 教科入試)

(第 1 限 9 : 00 ~ 9 : 45)

国 語

注 意

- 1 「はじめ」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 問題は全部で 3 題あり、5 ページまでです。
- 3 「はじめ」の合図があったら、まず、解答用紙に受験番号を書きなさい。
- 4 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 5 「やめ」の合図で、すぐ鉛筆をおき、解答用紙を裏返しにして机の上におきなさい。

【第一問題】 次の各問いに答えなさい。

問一 次の文の——線部の読みを、ひらがなで書きなさい。

- 1 仕事に情熱を燃やす。
- 2 領土問題の解決に努力する。
- 3 材料を容器に入れる。
- 4 水質を検査する。
- 5 家庭農園の土を耕す。

問二 次の文の——線部を漢字に直しなさい。

- 1 合図とともにイキオいよく飛び出す。
- 2 国宝のブツゾウを見に行く。
- 3 会議に参加して意見をノべる。
- 4 食べ物をキントウに分ける。
- 5 体操のすばらしいエンギに感動した。

問三 漢字の読みには、音と訓があります。次の熟語の読み

はどの組み合わせになっていますか。ア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- |   |     |   |     |   |     |   |     |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|
| ア | 音と音 | イ | 音と訓 | ウ | 訓と訓 | エ | 訓と音 |
| 1 | 残高  | 2 | 物置  | 3 | 招待  | 4 | 手製  |
| 5 | 安易  |   |     |   |     |   |     |

問四 次の——線部を漢字に直し、一字だけ書きなさい。

- 1 シ育係
- 2 芸ジュツ的
- 3 祝ガ会
- 4 習カン化
- 5 サン性雨

『クモの糸の秘密』（大崎茂芳）より

- 注1 郊外 ……まちはずれ  
注2 ハングリー ……空腹なこと  
注3 造網性 ……網を張ってエサをとる習性  
注4 入植 ……開拓地などに入って生活すること  
注5 因子 ……要因・原因  
注6 徘徊 ……あてもなく歩きまわること  
注7 行商 ……商品を持って家々をたずね歩いて売ること  
注8 ノウハウ ……物事のやり方

問一 空らん **A** **D** の中に入る言葉として最もふさわしいものを次のア～カの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア ちょうど    イ そして    ウ そうかといって  
エ いくら    オ もはや    カ いかにか

問二 — 線部①「降りたところが一生を決めるのです」とありますが、なぜですか。文中の言葉を使って**三十五字以内**で答えなさい。

（句読点も一字に数えます）

問三 — 線部②「頭を使っている」とはクモのどのような行動をさしていますか。文中から**三十字以内**でぬき出しなさい。

（句読点も一字に数えます）

問四 — 線部③「客」④「経営状態」⑤「建物」とはそれぞれ何をたえていますか。次のア～カの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 農作物の収穫量    イ 食料の豊富さ    ウ 巢  
エ 昆虫    オ 赤ちゃんグモ    カ 木

問五 — 線部⑥「買ってくれそうな仕掛け」とは、クモの場合どのようなことをすることをさしていますか。文中の言葉を使って**二十五字以内**で答えなさい。

（句読点も一字に数えます）

問六 本文の内容として正しいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 赤ちゃんグモは風によって移動しながら、獲物の多い場所だけに降り立っている。  
イ クモは農耕民族と違って簡単に移動することはできないので、巢をつくる場所が重要である。  
ウ 造網性のクモにとって、効率的に食料を得られる場所に巢をつくるかどうかで、生活力が決まってくる。  
エ 徘徊性のクモはうろうろと獲物を捜して歩き回っているので、効率よく獲物を捕らえることができない。

【クラスメイツ】（森絵都）より

- 注1 円卓 ……まるいテーブル  
注2 真琴とヒロ ……田町と同じクラスのクラス委員  
注3 鳴咽 ……声をつまらせて泣くこと  
注4 学ラン ……黒いつめえりの男子の学生服  
注5 例のお守り ……夏に陸からもらって大切にしている虫よけのプレスレット

問一 空らん **A** **C** に入る言葉として最もふさわしいものを次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- A ア 広い           イ 楽しい           ウ きつい           エ 明るい  
B ア 痛く           イ 遅く           ウ 青く           エ はやく  
C ア けれども       イ なぜなら       ウ だから           エ その上

問二 波線部「あっけにとられて」の意味としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- A ア 話題を変えられて           イ おどろきあきれて  
ウ 場をなごませて           エ 調子にのって

問三 — 線部①「田町はハッとした」とありますが、なぜ「ハッとした」のですか。文中の言葉を使って三十文字以内で答えなさい。  
（句読点も一字に数えます）

問四 — 線部②「こんなふう」に「が」がさしている内容を、文中から二十文字でぬき出しなさい。  
（句読点も一字に数えます）

問五 — 線部③「ぼくが、ぼくが、言えなかったから……」から、「陸」のどのような心情がうかがえますか。最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- A あの夏の日、田町と出会ったときに、自分もつと田町のために言っておげられる言葉があったはずだと後悔する気持ち。  
イ 自分が意気地（いぢぢ）なしで田町を守ってやれなかったせいで不登校にさせてしまったことをくやしく思う気持ち。  
ウ 田町と小学校からの同級生でもあった自分が言うはずだったセリフを心平に言われてしまったことをくやしく思う気持ち。  
エ 田町が学校に出てくることを、もつと真剣に考えてやればよかったと自己中心的な行動を後悔する気持ち。

問六 — 線部④「まるで陸だけが嵐のなかを来たみたいだ」とはどのような様子をたどっていますか。「～様子」という形に合うように、文中の言葉を使って三十五文字以内で説明しなさい。  
（句読点も一字に数えます）

問七 — 線部⑤「校門の前でおばあちゃんと別れた」ときの「田町」の気持ちとして最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- A 一度は学校に行こうと心に決めて向かったが、だんだん足も重くなり、心配そうなおばあちゃんの言葉に、今日はもう引き返してしまおうかと決心がゆらぎ、まよう気持ち。  
イ 今まで学校に行けなかった自分が、ピアノ伴奏などできるわけがないと心平にわかってもらいたいが、陸に泣かれると困るので、しかたがなく学校に向かう気持ち。  
ウ はじめはお腹が痛くなりそうなほどきん張っていたが、無理して学校に行かなくてもいいとおばあちゃんに言われたのがくやしくて、おばあちゃんを見返したいという気持ち。  
エ お腹が痛くなりそうなほどきん張しているが、陸や心平のように学校には自分を忘れず必要としてくれる人がいるから、今日は絶対に学校に行くという強い気持ち。

